

そほう

組

報

かながわ

No.20 2007.3.15

身近なお寺の情報誌

石窟寺院群を対面の山から望む。



第26窟。涅槃像があるチャイティア窟の正面。



長さ7mで、インド最大の涅槃像。



インド最大の石窟寺院群 アジアンタ

紀元前1世紀から紀元後5世紀頃に掘られた石窟寺院。ワゴーラ川によって侵食され崖になった岩を洞窟状に掘り進めつくられている。30を数える仏教の石窟寺院は、古代インドの最良の壁画のみごとな姿を壁や天井に今も残している。石窟群には釈迦を祀るためのチャイティア窟と僧侶が寝泊まりするヴィハラー窟の2種類がある。

浄土真宗本願寺派

そほう かながわ 第20号

涅槃会

三 齋 垢

最乗寺住職

日野 教秀



二月十五日は「涅槃会^{ねはんえ}」といって、お釈迦さまが亡くなられた日です。親鸞聖人はお釈迦さまのことを「教主」と仰がれました。「教主」とは教えの主という事で、つまりはお釈迦さまによって阿弥陀さまが尊いご本願をおたていただいていることや、功德に満ちた「南無阿弥陀仏」のお名号^{なむあみだぶつ}のおいわれを教えてくださいましたのです。「必ず救います、まかせなさい」と呼びかけてくださる阿弥陀さまのお心を、まっすぐ信じていきなさいと勧めてくださったのがお釈迦さまであります。

そのお釈迦さまの最後のことが「すべてものは移り変わる、たゆまず精進せよ」でありました。欲しいものがあつたときや困ったときは私に頼んで、急げほつけてのんびりと暮らさなさいとは申されませんでした。刻々と移り変わっていく世の中であり、確実に老いしつめる私であります。おろそかにできる時は一時としてありません。その中で、今私のなすべきことは何か。それを見つけて精一杯努力してこそ、何よりも尊いことであると教えこんだわつたのです。

結果を案じたり、楽をして得をする方法を考えるのではなく、今を生きていることこそ大切なのであります。努力するということとは大変なことであり、しりらく苦しむこともあります。しかし、私たちは惜しみなくその努力を続けていくことではありませんか。いつも傍にいて「先のことを心配する気持はなう。わあ、がんばりませう」と阿弥陀さまが呼びつづけてくださる確かなお念仏が頼もしくも励ましてくださるのであります。この安心の中で、今をまっすぐ生きていこう、それがお釈迦さまのいわれた「たゆまず精進せよ」のお言葉でありましょ。

●浄土真宗のご本尊

浄土真宗の教えは、苦悩の衆生を常に、見まもり、導き、支えてくださる、阿弥陀如来の智慧と慈悲を、私たちの生きるよりどころとするものです。

お仏壇に安置するご本尊は、阿弥陀如来の「方便法身の尊形」です。これは、阿弥陀如来の、その真実の智慧と慈悲の救いのはたらきを、私たち衆生が尊崇できるように形に現されたもの、という意味です。

そういうことから、ご本尊の形には、阿弥陀如来の木像や絵像、あるいは「南無阿弥陀仏」と書かれた名号などが用いられます。

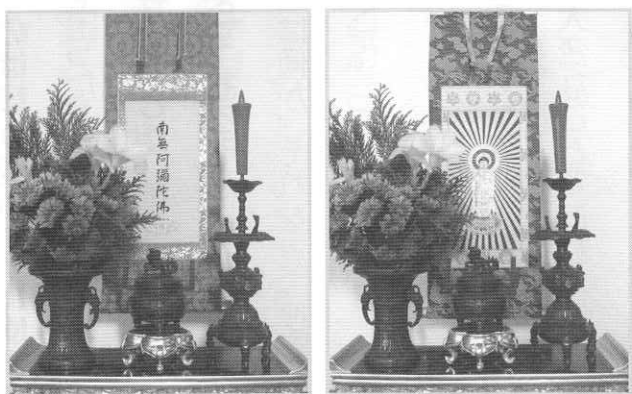
●ご本尊などの在家免物はご本山から

私たちのご本山・西本願寺では、家庭の仏壇用のご本尊として、絵像および名号の掛け軸が用意されています。仏壇を購入する場合や、古くなった掛け軸を新調するときには、ご本尊は市販のものでなく、できればご本山からお受けしましょう。所属寺院にご相談して、取り次いでもらうとよいでしょう。

●ご本尊の安置のしかた

ご本尊は、仏壇の中心に安置します。その手前には、右側にロウソク立て・中央に香炉・左側に花瓶を配置します。これが仏壇の配置の基本形です。

図① ご本尊と三具足

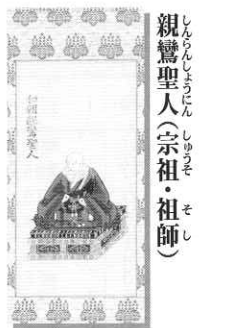


花 瓶 香 炉 ロウソク立て
花 瓶 香 炉 ロウソク立て

●ご本尊と掛け軸の安置のしかた

さらに、ご本尊の両脇にも掛け軸を安置する場合には、向かって右側には親鸞聖人の絵像(もしくは「帰命盡十方無碍光如来」の名号)の掛け軸を安置します。この場合、掛け軸三幅の配置には、次のように四通りの仕方がありますので、いずれかの組み合わせにします。

図② 掛け軸三幅の配置



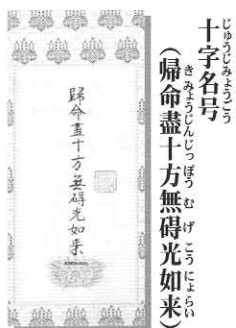
親鸞聖人(宗祖・祖師)



ご絵像



蓮如上人(蓮師)



十字名号

(帰命盡十方無碍光如来)



六字名号(南無阿彌陀佛)



九字名号

(南無不可思議光如来)



十字名号

(帰命盡十方無碍光如来)



ご絵像



九字名号

(南無不可思議光如来)



親鸞聖人(宗祖・祖師)



ご絵像



蓮如上人(蓮師)

宗派／組の動き

宗派の動き

「親鸞聖人七百五十回大遠忌法要」

親鸞聖人七百五十回大遠忌法要へ向けて、宗門では、「新たな始まり〜明日の宗門の基盤作り〜」をコンセプト、「世のなか安穏なれ」をスローガンに、平成十七年から始まり大遠忌法要を中間点とする三期十二年の大遠忌宗門長期振興計画を策定しました。現在これらの計画が次々に具体化しています。本山での大遠忌法要は、平成二十三年四月から二十四年一月まで、大谷本廟では二十一年十月（予修）に厳修されます。

大谷本廟での法要（予修）

二〇〇九（平成二十一年）年

十月十二日〜十六日

本山での法要

二〇一（平成二十三年）年

四月九日〜十六日

五月九日〜十六日

六月九日〜十六日

九月九日〜十六日

十月九日〜十六日

十一月九日〜十六日

二〇一（平成二十四）年

一月九日〜十六日

組の動き

「第八期連続研修会スタート」

連研（連続研修会）は、門信徒の皆さまに、浄土真宗のみ教えを体系的に学んでいただくことを目的に開催されています。二〇〇六年六月十七日（土）から第八期がスタートいたしました。偶数月の第三土曜日に開催し、全十二回で構成されています。テキストは神奈川組で独自に編纂されたものを使い、講義

「宗門長期振興計画を推進」

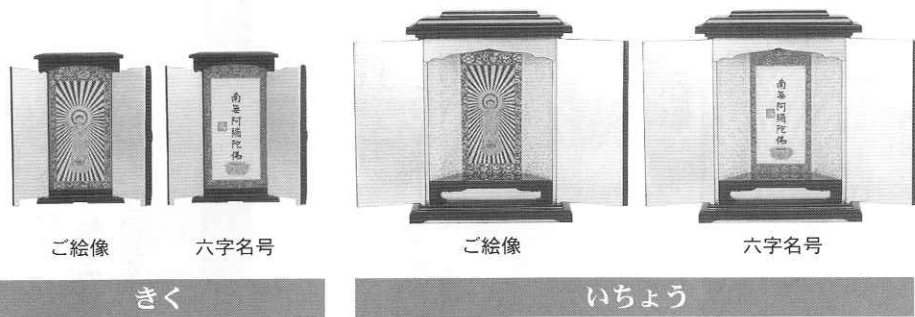
宗門では、親鸞聖人七百五十回大遠忌法要へ向け、平成十七年から総予算二百六十億円で、三期十二年の宗門長期振興計画を策定、現在募財が行われている。

振興計画は「親鸞聖人七百五十回大遠忌法要の修行」と「現代社会に伝える教学・伝道態勢の構築」とみ教えに生きる「人」の育成を二大目標として、①親鸞聖人七百五十回大遠忌法要の修行と記念行事の推進②教学・伝道の振興③寺院活動の推進④社会的活動の展開⑤次代を担う「人」の育成⑥宗務機能の整備・拡充の六施策に分け具体的な項目として十五の重点項目が挙げられている。振興計画は今年で三年目に入り、すべての計画について次々と推進されている。

●仏壇の新しいスタイル 厨子型本尊

せまい住宅環境でも、礼拝の場を設けることができるように、写真のような、コンパクトな厨子型の厨子本尊も、ご本山で調製されています。絵像と名号の二種類で、サイズも「いちよう」

図③ 厨子型本尊



■厨子型本尊

種類	サイズ	ご絵像	六字名号
きく	タテ172ミリ ヨコ103ミリ 奥行29ミリ	¥20,000	¥20,000
いちよう	タテ240ミリ ヨコ190ミリ 奥行90ミリ	¥30,000	¥30,000

「きく」の二種類が用意されています。家族と離れて一人暮らしをしている方などにもおすすめです。

と班別の話し合い（法座）を中心に進められます。

■神奈川組仏教婦人会「めぐみ会」

「めぐみ会」は、組内各寺院の婦人会の連盟です。毎年、総会・研修会を開催し、各婦人会の交流と親睦をはかっています。宗門関係の特別養護老人ホーム「あそか園」への清掃奉仕を行ったり、ターナ（布施）活動として募金を行い、これを宗派を通して社会福祉に役立てる活動をしています。

■第三十五回南ブロックお寺の林間学校

毎年、神奈川・静岡・山梨三県から小学校三年から中学三年の子供たちが集まり開催されています。今年八月一日から三日まで相模組の担当で開校されます。詳細は所属のお寺までお問い合わせください。

■神奈川組仏教壮年会

組内の各寺院から集まった会員が活発に活動中。宣正寺の早島大英師による「歎異抄」の講義が年四回程の開催が進められています。二〇〇六年十一月には、相模組内の寺院の行脚を行い、親鸞聖人の長男の善鸞師ゆかりのお寺を参拝しました。

【二〇〇六年度慶弔】

▼往生 十月 寶光寺住職 藤田恭順様 九十五歳

■問い合わせ・お申込先 / 〒600-8501京都市下京区堀川通り花屋町下ル
浄土真宗本願寺派宗務所 参拝志納部免物係
TEL.075-371-5181 FAX.075-371-7601

※別途、荷造送料が千五百円(五幅まで)かかります。

守れない戒律は必要ない？



一

仏教の五戒(五つの戒律)の一つ目が、「不殺生戒」です。殺してはならないという戒律、これを守ることは至難の業です。私たちは道を歩いていても知らぬ間に虫を何匹踏みつぶしているかもわかりません。さらに、現実には、毎日多くのいのちを食して自らのいのちを支えているのです。

しかし、私たちは、仏教の戒律が、私たちの生活に適合しない非現実的な理想論に過ぎないと決めつけて、現実には則した戒律に改めようとは思いません。なぜならば、私たちがこの戒律を大切にしているからです。

お釈迦さまは、いわば大きな努力

目標を示されたのです。そして、その目標を前にした人間が如何に危ういものであるかを明らかにしているのです。人間のところを支配する煩惱というものが、その努力目標をいつの間にか遠くに押しやっつてしまつてという現実があることに気づけようとしています。

二

安倍首相は、二月二十六日の国会における施政方針演説の冒頭で、「日本を、二十一世紀の国際社会において新たな模範となる国にしたい」と宣言し、「先輩方が築き上げてきた輝かしい戦後の日本の成功モデルに安住してはならない」とたしなめ、「憲法を頂点とした、行政シ

ステム、教育、経済、雇用、国と地方の関係、外交・安全保障などの基本的枠組みの多くが、二十一世紀の時代の大きな変化についていけなくなっていることは、もはや明らか」と、憲法をはじめとする国家の基本的枠組みが、もはや時代遅れであると決めつけました。

防衛庁は省に昇格しました。自衛隊の海外派兵はこれからも実施されていくとのこと。現憲法の平和条項はもはや有名無実化したと言いたいのでしょうか。

しかし、はたしてそうでしょうか。イラクに派遣された自衛隊が、一発も発砲することなく無事に帰ることができたのは憲法第九条があったからではないでしょうか。平和憲法があったからこそ戦後六十年間

法 燈 明

の平和が保て発展をもたらしたのに、そこに安住してはならないとは、どういふことなのでしょう。

時代遅れと感じているのは、政治家だけのようないやがります。安倍首相は、国際社会、特にアメリカとの関係で、経済力があり強大な軍事力を持つ自衛隊があるのに国際的な軍事貢献が思うようにできないことにもどかしさを感じているのでしよう。政府に対するアメリカの圧力は強いのだと思いますが、憲法第九条によって、日本国民のいのちが守られていることは厳然たる

事実です。

ところが、現政府にとっては、憲法の平和条項が邪魔なのです。「どうせ守れないんだから不殺生戒(第九条)をなくしてしまった方が都合」と言っているようにしか聞こえてきません。

三

仏教においては、不殺生戒があるからこそ、私たちの生活の意味が明らかになるのだと思います。貪欲という悲しみを背負っているとの自

覚があるからこそ、自身の行動を律して行けるのです。そして、毎食ごとに多くのいのちをいただいていることに感謝の気持ちを忘れないでいられるのです。

憲法は、国家の普遍的な理想像を追求し制定されたものだと思います。政府にとって憲法は、まさに戒律の役割を果たしているということができないのではないのでしょうか。政治家の「時代遅れ」とか「非現実的」という言葉には、政治家たちの身勝手な都合が含まれているように思えてなりません。



みんなの藝

柳宗悦が、民衆の暮らしの中から生まれた美の世を人々に紹介するために、「民藝」という言葉を作ったのは一九二五年(大正十四年)のことでした。なぜ無名の職人の作った「用いるための器物」が、かくまで美しくなるのか? 柳宗悦は浄土真宗の信仰に裏づけされた生活にあると結論付けるのでした。

晩年に源左さん等妙好人の研究に入り、他力道の深い恵みの世界をさらに探りました。そして、民藝品を妙好品と呼ぶなど、物の美に即して宗教の真理を説きつつ、一九六一年

(昭和三十六年)、七十二年の生涯を閉じました。



「知事」



以前は社長、議長、課長、主任などと呼ばれていた役職の名称が、最近カタカナやアルファベットで表される名称に代わってきているようです。CEO、ジェネラルマネージャーなどの名称は、外国人の社長を迎えた会社などで見られますが、チエアマン、シニアディレクター、ストラテジストなど、一度聞いたぐらいでは覚えられない、何をすることも分からない名称も増えてきました。社会が移り変わっていくにつれて、役職の名称や仕事の内容が変わっていく事は仕方の無い事かもしれませんが、覚えにくい名称が増えたことには間違いが無いようです。

日本は島国ですから、新しい考えや方法は外国から入ってくるが多かった関係で、今だけでなく、ずっと以前から名称も外国語を使うことが多かったようです。今回取り上げる言葉「知事」も、もともとは外国語で仏教に関係ある言葉でした。

「知事」と言う名称はもともと中国のお寺の役職を表す言葉で、他のお坊さんの世話やお寺の事務を扱う役職の名前でした。時代と共に役割がどんどん細分化して、何人もの知事がお寺にいた時代があったようです。任期は概ね一年で、主にベテランのお坊さんが担当しました。この役職名が中国の地方長官の名前に転用され、それが日本の都道府県の役職名になったのです。

「知事」という役職名も、先に取り上げた言葉のように導入当初は覚えにくいものだったかもしれませんが、現在は毎日でもテレビに出る人が現れるほど、誰もが一度は聞いたことがある役職名になりました。先に挙げた名称の中からも、時代を越えて残っていくものが出るかもしれません。

ポストエイオス研究会
インターネットのホームページを開設。
法話や仏教情報などのページです。
<http://www.posteios.com>

ビハーラ電話相談
—老いの悩み、病の苦しみに—
相談日▶毎週月・金/午後2時~5時
浄土真宗東京ビハーラ(築地本願寺内)
TEL.03(5565)3418



テレホン法話

電話で仏さまのみ教えを!

- 築地本願寺こころの電話
TEL.03(3541)0294
- 長念寺テレホン法話
TEL 044(911)8282

ちよつと一息

ほうきょう ぼくじゅう
法敬坊九十まで存命候ふ。

この歳まで聴聞申し候へども、
これまでと存知たることなし、

あきたりもなきことなりと申され候ふ。

れんによしょうにんごいちだい ききがき
『蓮如上人御一代記聞書』(四十八条)

法敬坊(蓮如上人側近の門弟)は九十歳になるまで、お念仏のみ教えを聞き続けても(聴聞)、これで解ったということもなく、あきたりもしませんと申されています。

私達は少し聴聞しただけで解ったと思ひこみ、もうあきたと疎かにしてしまいます。

あきてしまう私達に常にあきずに包んでくださる阿弥陀仏のお慈悲。聴聞とはそのお慈悲がこの私に向けられていることを一生聞き続けていくことです。



つのかく 角隠し

和式の結婚衣裳の場合、花嫁さんは白無垢に「角隠し」という頭飾りをかぶります。頭のどこを探しても、角は生えていないのにどうして角隠しをかぶるのでしょうか?

実は昔、「角隠し」は浄土真宗の女性の門徒さんがお寺にお参りする時にかぶったものだったのです。人間誰しも一皮むけば、おそろしい鬼のような心をもっている私であったと気づかせていただくことが、仏さまの教えに出遭うということであり、ます。「お互い鬼の心をもった恥ずかしい者であります、なるべく角を出さずに人生をおくりましょう」という心のあらわれが「角隠し」であったのです。

「布施のこころえ」

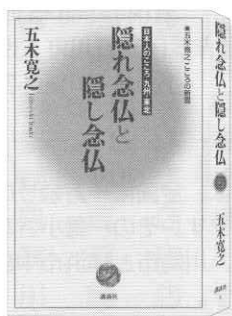
葬儀や法事などで僧侶にお経を読んでいただいた時に、お布施を包んで渡しますが、布施とは、もともと「ほどこし」の意味で、自分の持ちものを惜しみなく他人に与え、ともに助けあい喜びあうことをいいます。

布施には、僧侶が法を説き施す「法施」、財産や物品を施す「財施」、人から不安や恐怖を取り除き、恐れのない状態にする「無畏施」の三種類の布施があります。ところで、多くの人がお布施の中身で悩まれるようです。「いくら包んだらいいのでしょうか?」とか「相場を教えてくださいたいのですが」というような相談を受けることがよくあります。

お布施は僧侶に対する労働の対価でもなく、報酬でもありません。自分自身の感謝の気持ちを表わす行為なのです。中身の金額が気になることも理解できますが、感謝の気持ちであることを忘れずにいてもらいたいです。



読んでほしい本の一冊



『隠れ念仏と隠し念仏』 五木 寛之 (講談社)

日本の民衆史の中で「隠れキリシタン」については、多くの人々がその存在を知っている。しかし、「隠れ念仏」のことはあまり知られていない。鹿児島県と宮崎・熊本県の一部では江戸時代から明治9年まで浄土真宗を信じるのが禁じられ、厳しい弾圧が行われていた。

「隠れ念仏」は、藩の役人の目から隠れたが、本願寺とのつながりは保った。東北に多い「隠し念仏」は本山(寺)からも隠れたため、さ

らに知るものは少ない。いづれも厚き信仰を貫いた姿だ。

作家五木寛之氏は、民衆の信仰心との視点から、日本人の宗教性を掘り下げる。

お寺を訪ねて(19)

JR桜木町駅より徒歩で3分程歩いたところにある宝光寺は、お寺の前を国道16号線が通り、後ろを桜川新道が通っています。周辺にはビルが建ち並び、そのビルには多くの企業が入っています。眼前にはランドマークタワーがそびえ立ち、みなとみらいの観覧車もここから見るができます。はじめてここを訪れた人は「こんなところにお寺があるのだろうか」と心配になるのではないでしょうか。

幕末からこの横浜が開港され、多くの人たちが全国から文明開化の都市に集まってきました。同信同行の方々が集まりご法義を味わい喜ぶお寺が是非必要と思うところへ、本願寺第21代宗主明如上人が上京される時、東海道を来られたの

でありましたが、神戸、四日市から「船で横浜」に來られ、横浜から汽車で新橋まで行かれるのが一番近いので、どうしても横浜に本山直轄の説教所を建て宿泊される根拠地がなくてはとのことで、本願寺会館(説教所)が建てられました。本山直轄の説教所ということで、当初は築地別院から交代で所長さんが来ておられましたが成績がもう一歩ということで、後に宝光寺初代住職となられる藤田順道師が駐在布教使として任ぜられて来ました。将来別院に昇格する考えで山梨県から宝光寺の寺号を移しました。また「宝光寺」「本願寺会館」と本山から称号を併称されたこともありましたが、ですから現在においても周辺では「宝光寺」を「本願寺さん」と呼ばれる方もあります。

横浜は開港以来、文明開化の都市、港町として発展しましたが大変な災禍にも遇いました。大正12年9月1日、「関東大震災」で10余万の市民が亡くなられ、宝光寺でも8人の寺族が亡くなられました。大正7年に完成した間口8間4尺、奥行9間半の本堂も全壊、焼失しました。

昭和2年に再建された本堂も、昭和20年5月29日の「横浜空襲」によりまたも全焼しました。

昭和23年11月、現在の本堂の外陣だけが門信徒の方々のご協力で見事に建て増し、現在の宝光寺となりました。平成18年10月17日に95歳でご往生された第2代の恭順師は3つの本堂を直接目にしてこられたこととなります。

宝光寺の「横浜仏教婦人会」は明治44年に発足し、現在でも毎月27日の鏡如上人裏方さまのご命日に開催されています。第1回目の総会には九條武子さまをお招きしたそうです。また「横浜仏教青年会」も大正8年頃から盛んになり、後に市長となられた石河京市氏をはじめ2名の市議員も出られ、現在では中国や韓国の方も参加され国際色豊かな活動として、毎月第2土曜日の夜に開催されています。

明治初頭から十二日講(毎月15日から21日までの1週間毎日2席3座の法座)という「聞法の座」が開かれていましたが、現在も門徒講座として毎月15・16日に開催されています。その他「聖典講読会(現在は『正信偈])」や様々な法要が勤まっています。

最後に現住職恭爾師(第3代)よりひとこと

「一人一人が、自分のいのちの行く末を見つめ、お慈悲に領くのが浄土真宗です」と。

ぜひ一度お参り下さい。



— 桜木町のお寺 —

ほう こう じ
宝光寺

横浜市中区桜木町3-5

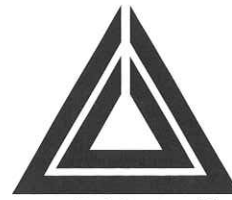
お手々のしわとしわをあわせて...しあわせ

日本の美・日本の心をお届けします。

お仏壇・お墓 はせがわ



しあわせ少女ゆうかちゃん



お仏壇・お墓
はせがわ

昭和59年 京都西本願寺阿弥陀堂
昭和大修復事業
昭和62年 京都清水寺開山堂御厨子
三重塔堂内修復事業
昭和63年 福岡証券取引所
業界初の株式上場
平成6年 大阪証券取引所第2部
株式上場

製造部
(株)はせがわ美術工芸
(国宝美術品、寺院神社)
(株)はせがわ仏壇工房明日香工場
(純金箔仏壇)
(株)はせがわ仏壇工房大川工場
(唐木仏壇)

業界初の上場企業
関東地区82店舗・全国で116店舗

～お仏壇、お仏具等～
特別価格
大ご奉仕中!!
※セール商品は除きます。

墓石・霊園も
好評お取り扱いしております。

横浜・川崎地区の店舗ご案内

金沢文庫店	横浜市金沢区谷津町352-7 オオサワヒルズ1F	☎0120-767-698
上大岡店	横浜市港南区日野5-1-25	☎0120-767-628
戸塚店	横浜市戸塚区柏尾町440-1	☎0120-767-627
今宿店	横浜市旭区今宿東町1621	☎0120-767-658
新杉田店	横浜市磯子区杉田1-1-1 らびすた新杉田1F	☎0120-484-883
長津田店	横浜市緑区いぶき野3-1	☎0120-744-194
鶴見駒岡店	横浜市鶴見区駒岡町4-23-4	☎0120-176-761
日吉店	横浜市港北区日吉3-4-8 リバーサイド日吉	☎0120-639-010
鷺沼店	川崎市宮前区東有馬1-1-19	☎0120-876-768
川崎店	川崎市川崎区東田町2-1	☎0120-767-577
町田森野店	町田市旭町1-8-20	☎0120-768-201
向ヶ丘遊園店	川崎市多摩区登戸1763 ライフガーデン向ヶ丘	☎0120-594-345

営業時間／午前10時～午後7時 日曜・祝日も営業いたしております。

わたしたちのお寺です

浄土真宗本願寺派 神奈川組

円光寺	〒210-0814 川崎市川崎区台町4-21 石川 康承 ☎044-266-2677
宝円寺	〒210-0838 川崎市川崎区境町5-10 飯田 琢亮 ☎044-222-3941
光徳寺	〒210-0848 川崎市川崎区京町1-14-3 林 信順 ☎044-333-3997
正楽寺	〒212-0016 川崎市幸区南幸町2-49 佐々木俊博 ☎044-522-1961
高願寺	〒211-0051 川崎市中原区宮内4-3-12 宮本 義宣 ☎044-777-6544
長念寺	〒214-0014 川崎市多摩区登戸1416 小林 泰善 ☎044-911-2549
常念寺	〒215-0033 川崎市麻生区栗木203 古市 道仁 ☎044-988-0205
浄照寺	〒216-0004 川崎市宮前区鷺沼2-5-7 加藤 孝充 ☎044-855-2780
善龍寺	〒221-0811 横浜市神奈川区斎藤分町29-51 斎藤 幸紹 ☎045-491-9431
善教寺	〒223-0057 横浜市港北区新羽町2396 平等 勝尊 ☎045-541-7684
教覚寺	〒223-0057 横浜市港北区新羽町2395 (代務)平等 勝尊 ☎045-531-5050
光輪寺	〒223-0064 横浜市港北区下田町3-2-9 村石 恵照 ☎045-561-8671
東善寺	〒224-0001 横浜市都筑区中川7-18-29 長谷尾芳雄 ☎045-911-3509
長徳寺	〒224-0015 横浜市都筑区牛久保西3-9-1 平塚 大乘 ☎045-911-7351
寿福寺	〒224-0033 横浜市都筑区茅ヶ崎東1-7-1 多田 龍空 ☎045-942-3721
最乗寺	〒224-0034 横浜市都筑区勝田町1277 日野 教秀 ☎045-941-3541

慈恩寺	〒224-0055 横浜市都筑区加賀原2-18-1 小泉 敬信 ☎045-934-8648
西勝寺	〒225-0003 横浜市青葉区新石川1-10-8 藤下 悌乗 ☎045-911-0156
長延寺	〒226-0015 横浜市緑区三保町2440 (代務)高杉 俊教 ☎045-932-3348
蓮向寺 教会	〒229-0016 相模原市当麻863-30 北條 大慈 ☎0427-77-3011
最願寺	〒230-0001 横浜市鶴見区矢向4-19-18 藤江 義昭 ☎045-571-4694
宝光寺	〒231-0062 横浜市中区桜木町3-5 藤田 恭爾 ☎045-201-3509
善然寺	〒232-0061 横浜市南区大岡2-26-17 長谷山顕俊 ☎045-741-2351
宣正寺	〒232-0063 横浜市南区中里3-20-18 早島 大英 ☎045-731-2679
清来寺	〒241-0034 横浜市旭区今宿南町1895 曾我 求真 ☎045-951-0012
徳蔵寺 教会	〒241-0816 横浜市旭区笹野台3-9-9 寺田 崇裕 ☎045-364-2266

本願寺築地別院都市開教布教所

横浜布教所 住蓮寺	〒240-0065 横浜市保土ヶ谷区和田2-12-19 開田 蓮成 ☎045-341-7455
磯子布教所 真行寺	〒231-0835 横浜市中区根岸加曾台25-47 中戸 達雄 ☎045-623-4480
青葉布教所 西法寺	〒227-0033 横浜市青葉区鴨志田町567-13 西村 信也 ☎045-961-3737

地域内の東京教区寺院

妙延寺	〒215-0002 川崎市麻生区多摩美1-27-1 山本 浩真 ☎044-966-5304
覺永寺	〒225-0004 横浜市青葉区元石川町6391 喜代多證宣 ☎045-901-0570

「神奈川組」とは...

私たちの教団(浄土真宗本願寺派)は、全国に一万余りの寺院を擁し教団独自の地区割をしています。その一番小さな単位を「組」といいます。神奈川組は、川崎市と横浜市中部と北部の寺院によって構成されています。

浄土真宗本願寺派東京教区神奈川組

組長/小林 泰善	副組長/長谷山顕俊	相談員/藤江 義昭
教区会議員/佐々木俊博	副組長/早島 大英	相談員補佐/古市 道仁
根本 猛(門徒)		

金子みすゞの詩^{うた}

熱心な念仏者だった金子みすゞ。彼女の哀しくて、でもかわいらしく、優しい詩の背景にはお念仏の教えが色濃くにじみ出ています。

金子みすゞは、一九〇三(明治三六)年、山口県長門市仙崎に生まれた。本名を金子テルといい、二十歳頃(大正十二年)から詩をつくり、雑誌に投稿を始めた。ペンネーム「金子みすゞ」で初めて投稿した詩が『童謡』婦人倶楽部『婦人画報』『金の星』四誌に一齐に掲載され、当時の童謡詩人たちのあこがれの星となった。しかし、二十六歳の若さで亡くなったため、その作品は散逸していたが、没後五十年余を経た一九八二年五百十二編の遺稿集が発見され、『金子みすゞ全集』(JULIA出版局)が出版された。

「わたしと小鳥と鈴と」

わたしが両手を広げても お空はちつとも飛べないが

飛べる小鳥はわたしのようにな 地べたを早くは走れない

わたしが体をゆすつても きれいな音は出ないけれど

あの鳴る鈴はわたしのようにな たくさんな歌は知らないよ

鈴と小鳥と それからわたし

みんな違つて みんないい



—「金子みすゞ全集」
(JULIA出版局)より—



昔から人をうらやむとき、「隣の畑はよく見える」と表現されます。様々な事柄(学歴・財産・名誉・地位など)を価値基準として、他の人とのついつい比べてしまい、うらやんだりがつかりしてみたり、誇ってみたりしているのが、この私かもしれません。私たちは、他の人に代わったり代わってもらうことはできません。だからこそ、かけがえのない私なのです。そして、この私は、私のままに輝くことができるいのちなのです。ならば、他の人もかけがえのない存在なのです。そして、私たちは一人で生きていくということはできません。お互いが認めあい支え合つて生きていきたい。「みんな違つてみんないい」のです。



浄土真宗本願寺派 (西本願寺)

組報かながわ No.20

■発行日 2007年3月15日
(毎年1回3月発行)

■編集発行 浄土真宗本願寺派
東京教区神奈川組
基幹運動推進委員会

〒214-0014 川崎市多摩区登戸1416 長念寺内